

## 第 41 回 人間・生活環境系シンポジウム

### 蚕糸施設見学会

日時：12/8 12：50～15：35

信州上田は日本の近代化を支えた繊維産業の内、蚕種(古来種の蚕を交配して優良品種の幼生を供給)、養蚕、製糸、つむぎ、蚕糸教育までの一連の拠点が揃った街で、かつては蚕都として栄えました。繊維産業の製造拠点の多くは海外に移り、規模こそ縮小しましたが、国内の優れた蚕種技術をつなぎ、新品種の蚕を基に新しい産業を起こすべく、現在も上田で蚕種が操業中です。また、繭の乾燥、貯蔵から、煮繭、繰糸、再繰、出荷までの一連の工程の設備をひとところに残し、かつての製糸業の姿をそのまま今に伝える工場もあります。その中には、築 110 年以上の木造 5 階建て倉庫、大正期の鉄筋 5 階の倉庫など、国の重要文化財に指定された複数の建物群もあります。

シンポジウム実行委員会では、皆様を上田にお迎えするにあたり、上田蚕種協業組合様、笠原工業様、信州大学繊維学部様に協力をいただき、下記の蚕糸施設見学会を企画しました。是非是非、ご参加をいただければ幸いです。

#### 日程

12：50：集合 信州大学繊維学部正門

(徒歩 5分)

13：00～14：00 上田蚕種協業組合(図 1) 見学

(徒歩 10分)

14：10～15：10 笠原工業株式会社(旧常田製糸場)(図 2) 見学

(徒歩 10分)

15：20～15：35 信州大学繊維学部資料館(図 3) 見学

15：35 解散

※ 信州の冬に、2 時間以上の歴史的建築物の見学です。「暖かい服装」でご参加ください。



図 1 和紙に産み付けられた蚕の卵

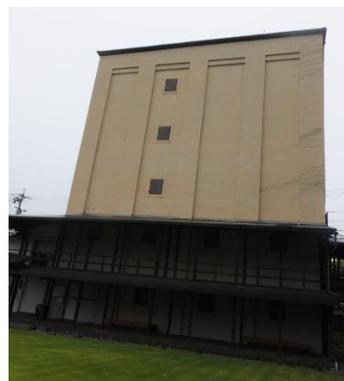


図 2 大正時代の鉄筋 5 階建て倉庫



図3 堤糸(かつての生糸の荷姿)

人数：最大 30 名（下記へお申込みください）

お申し込み方法 佐古井智紀([t-sakoi@shinshu-u.ac.jp](mailto:t-sakoi@shinshu-u.ac.jp)（メール送信の際には@を半角にしてください）)まで、お名前、ご所属、連絡先を明記して、電子メールでお申し込み下さい。定員になり次第締切を致します。

参加費：300 円/人(任意。当日、お申し受けいたします)

※ すべての見学先において、入場料等は一切ございません。ご賛同いただけるようでしたらご参加の皆様にご負担いただく形で、後日、見学先にお礼（お菓子など）を持参したく存じます。